

サービス産業動態統計調査 ニュース

No. 5 令和8年3月発行



総務省統計局

〒162-8668

東京都新宿区若松町19番1号

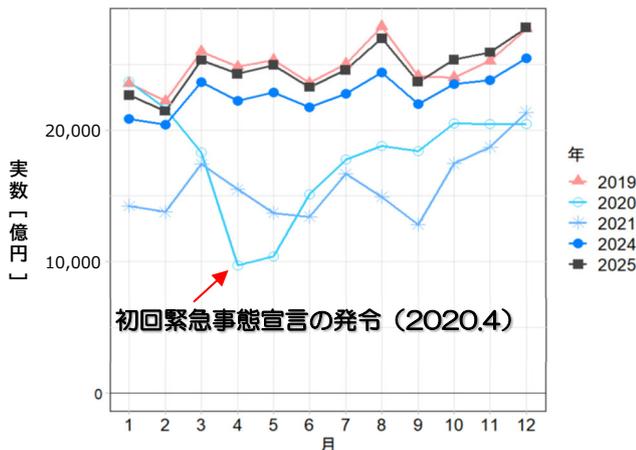
調査の結果紹介 ～コロナ後のサービス産業②～

本紙では、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が初めて発令された2020年から2025年までの各産業の移り変わりについて、調査結果をもとに数回に分けてご紹介しています。

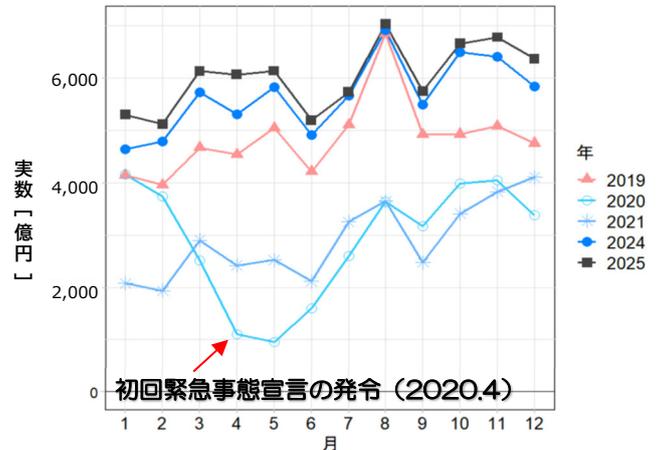
今回は、ホテルや旅館など、旅行者やビジネス客が一時的に滞在する場を提供するサービスや、客の注文に応じて料理した飲食料品を提供するサービスを含む、「宿泊業、飲食サービス業」を取り上げます。なお、飲食サービスには、その場所で飲食させることを主たる目的とした設備を有する「飲食店」と、飲食することを主たる目的とした設備を有さない「持ち帰り・配達飲食サービス業」があります。

調査結果をみると、「宿泊業、飲食サービス業」の分野のうち、宿泊業及び飲食店の売上高は緊急事態宣言の時期とともに急減してしばらく低水準で推移していました。その後、宿泊業はインバウンド需要の高まりなどを受けて2024年の段階で既にコロナ前の水準を大きく上回りましたが、飲食店は現在でもコロナ前の水準を下回っています。一方、持ち帰り・配達飲食サービス業の売上高は緊急事態宣言の時期直後は減少したものの、人との接触機会が少なく済むフードデリバリーのニーズの高まりなどを受けて2020年6月には回復し始め、現在では共働きや高齢者の需要なども相まってコロナ前とほぼ同水準となっています。コロナ禍を経た現在、海外からの旅行需要の増加や世帯態様の変化が「宿泊業、飲食サービス業」を下支えしていると言えそうです。

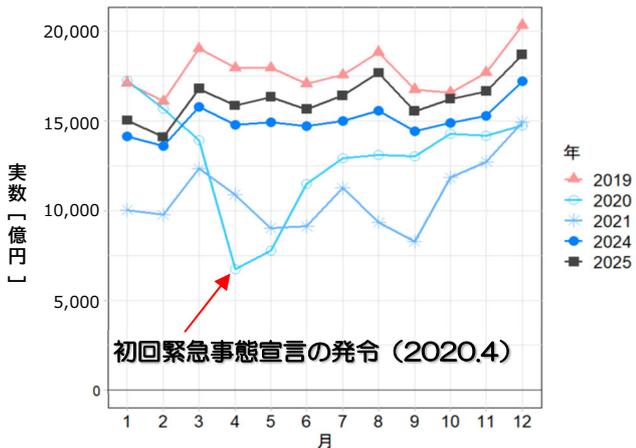
宿泊業、飲食サービス業



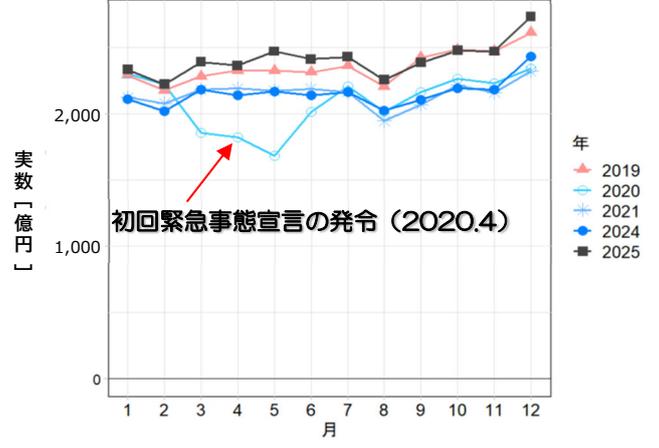
うち宿泊業



うち飲食店



うち持ち帰り・配達飲食サービス業



注) 2024年以前の実数は、サービス産業動向調査の結果を用いて、母集団情報変更・標本交替等により生じた変動を調整した値

サービス産業動態統計調査にご回答いただき、ありがとうございます。

毎月のご回答は **インターネット** で！

いつでもどこでも調査にご回答いただけるインターネット回答が便利です。
政府統計オンライン調査総合窓口※ <https://www.e-survey.go.jp/> から
 ご回答ください。



※ 総務省統計局が委託した独立行政法人統計センター企業調査支援課から
 調査を依頼された場合は**政府統計オンラインサポートシステム**からご回答ください。

政府統計オンライン総合窓口

インターネット回答は、紙の調査票への記入や郵送の手間を削減できるだけでなく、入力漏れや誤りを自動でチェックする機能も備わっているため、正確な回答を効率的に行うことができます。これまで紙の調査票でご回答いただいていた企業・事業所の皆様も、インターネット回答をご活用ください。

スマホによるインターネット回答の解説動画を YouTube にて公開中！

サービス産業動態統計調査のインターネット回答はパソコンのほか、スマートフォンなどからも回答することが可能です。

総務省統計局では、スマートフォンによるログイン方法から、回答の入力、送信完了に至るまでの一連の流れを、実際の操作画面を交えてわかりやすく解説した動画を総務省統計局の公式 YouTube チャンネルで公開しております。

【総務省統計局の公式 YouTube チャンネル】



この機会にぜひ、かんたん・便利なスマートフォンによるインターネット回答をご利用してみませんか？



サービス産業動態統計調査
 スマートフォンによるインターネット回答の方法

【URL : <https://youtu.be/cNUp16cJtDM>】



◆ **結果公表のお知らせ（今後の公表予定）**

公表予定日	速報	確報
2026年 3月 24日(火)	2026年 1月分	2025年 10月分
2026年 4月 22日(水)	2026年 2月分	2025年 11月分
2026年 5月 25日(月)	2026年 3月分	2025年 12月分

調査結果は、調査月の翌々月下旬までに速報、5か月後の下旬までに確報として公表します。

◆ サービス産業動態統計調査の内容は、統計局ホームページからご覧いただけます。

サービス産業動態統計調査

検索

<https://www.stat.go.jp/data/mbss/index.html>



サービス産業動態統計調査にご回答いただき、ありがとうございます。